

藤本義昭コレクション

台湾産植物標本目録・植物学関連文献目録

2008

兵庫県立人と自然の博物館 編

目 次

本目録の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
台湾産植物標本目録	・・・・・・・・・・・・・・・・	3
植物学関連文献目録		
図書	・・・・・・・・・・・・・・・・	66
雑誌	・・・・・・・・・・・・・・・・	82
台湾産植物標本索引		
学名索引	・・・・・・・・・・・・・・・・	88
和名索引	・・・・・・・・・・・・・・・・	92

本 目 録 の 概 要

本目録は、藤本義昭氏によるイネ科植物を中心とする膨大な植物標本のうち、氏が台湾で採集されたものについてまとめたものである。また、氏が収集された植物研究に関わりのある文献図書もあわせて収録した。

藤本氏は、高校で教鞭を執る傍ら、ほぼ 60 年に亘って植物、中でもイネ科植物に特別の関心を向けて来られた。同氏の著作「たかがススキされどススキ」を読むと、氏のイネ科植物に対する真摯な姿勢が伝わってくる。時にスケッチも交えた詳細な記載、器官ごとの乾重量比較実験、分布調査や生態観察などがなされている。その一方で、ススキの語源や、台湾で食用にするというマコモタケの料理の仕方などについても調べておられ、同氏の興味が多岐に広がっていることがうかがえる。

同氏の収集標本はイネ科植物を中心とするが、広く被子植物からシダ植物までをカバーしており、採集範囲は兵庫県のみならず、日本全国、さらには本目録でまとめた台湾のものも含まれている。同氏が収集されたそれら植物コレクションのほとんどは、2005 年までに兵庫県立人と自然の博物館に寄贈された。その際、植物関係の図書・雑誌文献などもあわせて寄贈された。

同氏の台湾での採集のきっかけは、1979 年から 3 年間、台湾の台中日本人学校に勤務された事である。その後も、年に数回、台湾にでかけて採集を続けられた。この台湾産植物コレクションの大半は藤本氏自身の手によるものであり、イネ科を中心にほぼすべての植物が同定されている。植物標本づくりにおいて最も時間がかかるのが、同定とラベルづくりであるが、本コレクションでは、一つひとつの標本について採集者による同定名・詳細な採集場所・標高・緯度・経度などの情報が付され、学術的に非常に価値の高い標本となっている。日本で台湾の標本を見ようとすると、大きな標本庫に行っても断片的な情報しか得られないことが多いが、本コレクションは、台湾の植物、特に台湾のイネ科について、日本国内では他に例を見ない充実した内容となっている。

本目録に収録した、これら台湾産植物標本は約 1300 点にのぼる（インドネシア産標本数点を含む）。また、植物研究に関わりのある文献図書は約 850 点である。この文献類のなかには、古書店でもなかなか見つからない分類学関係の図書や、今では入手不可能な地方誌なども含まれている。本目録が、植物学を研究する方々、特に台湾の植物を調べようという方々にとって役立つことを期待する。

2008 年 3 月 編集者